

2024年

2月号

No. 162

ぶかぶか

しんぶん

寒い日が続きますね。
お元気でですか？
ぶかぶかしんぶんを
お届けします。

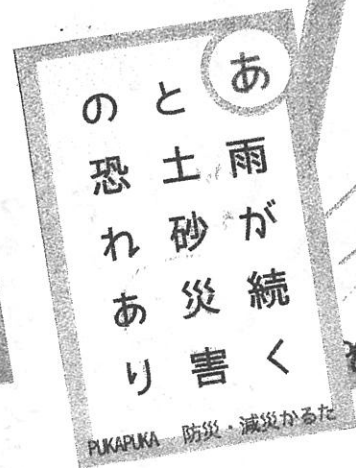
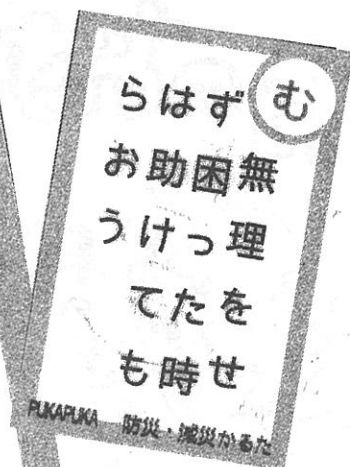


Naoko-MAIMAI

2月です。1月は年明けから能登半島で大きな地震があり、不安な日々を過ごされた方も多かったと思います。ふかふかでは年に2回 防火訓練を行っており、避難の練習などをします。

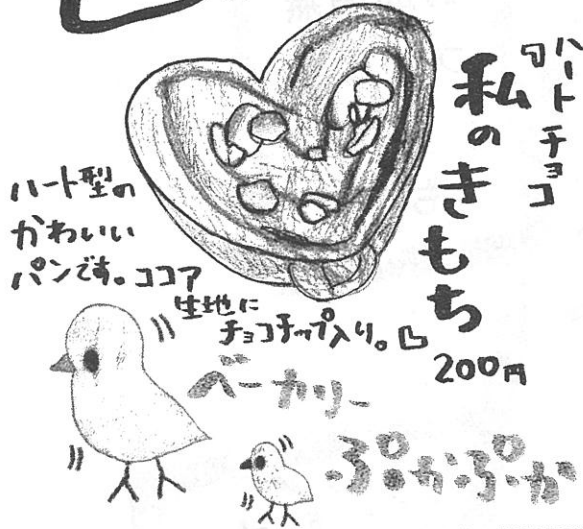
「防災・減災かるた」というかるたを手作りし、防災・減災について考えるワークをしたこともありました。かるたから知識を学び、もしものときどうするかを考えるきっかけになりました。

みなさんはどんな備えをしていますか？



2月のおすすめ

♡ 2月の土曜営業日 は 3日と17日です。
♡ 3月の土曜営業日 は 9日です。

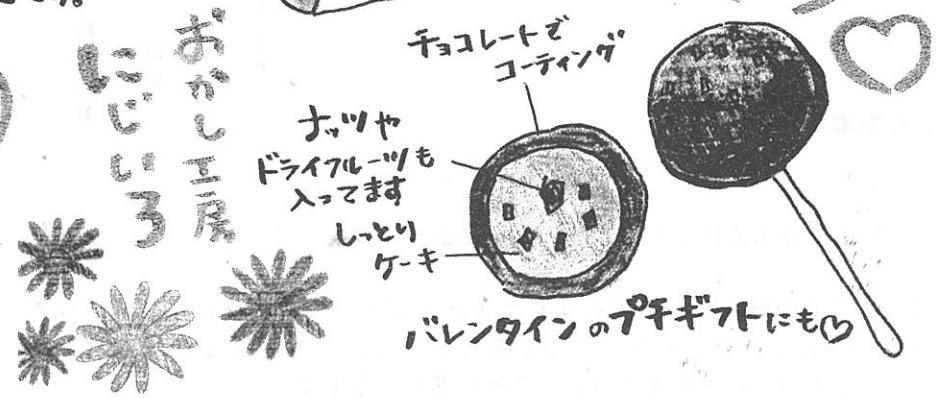


2月3日(土) 土曜営業日
恵方巻を販売いたします!
1本(20cmくらい) 680円
ハーフ(10cmくらい) 350円



おひさま
台所
!!
♡♡♡
アート屋
わんど
♡♡♡
2月のワークショップ

♡ ロリポップケーキ ♡



ふかふかさんの
おひるごはんメニュー 2024

ランチのご予約は
045-922-6775
15時以降は045-923-0282
まで。

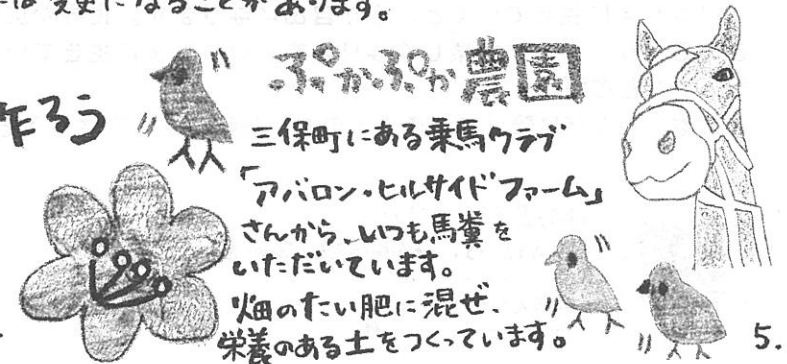


日	月	火	水	木	金	土
休	4	5	6	7	8	9
休	11	12	13	14	15	16
休	18	19	20	21	22	23
休	25	26	27	28	29	

※メニューは変更になることがあります。

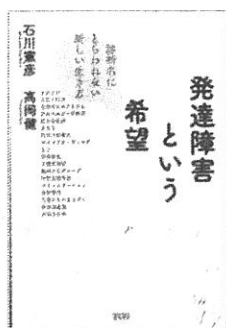
布ぞチャームを作る

2月17日(土)
10:30~12:00
アート屋わんどにて
お申し込み
045-923-0282



こんな本があります。

この本の最後の方にこんなことが書いてあります。



「これまでの社会からは疎外されてきた人が働きやすい場が生まれていくな、未来に希望を持つことができます。私たちが生きていく道の救いは、彼らといっしょに生きていくことにありそうです。」

これって、ぶかぶかがやっていることじゃないか、と思いました。障がいのある人達は、なにかと働きにくい現状、社会から疎外される現状があります。そんな中で、彼らに惚れこんだ高崎は、彼らといっしょに生きていった方がトク！とぶかぶかをはじめました。

で、はじめてみてあらためて気づいたことは、よく言われる「障害者は社会にあわせなければやっていけない」ではなく、そのままの彼らの方が魅力があることでした。結果、「そのままでもいいじゃん」と、そのままの自分で働いてもらっています。ですから彼らにとって、ぶかぶかはとても居心地がよく、働きやすい環境になっていると思います。そこに希望があると、この本はいつているのです。

希望という言葉がいいですね。生きることを前向きにしてくれます。希望があるから、私たちは前を向いて生きていけます。それをぶかぶかは創り出したのではないかと。

そうして、いろんな意味での私たちの生きにくさや息苦しさを救うのは、彼らといっしょに生きていくことにありそうだと。

いっしょに生きていくと、心が自由になります。世界が広がります。生きることが、なんだか楽しくなります。いっしょに生きていくことの意味が、グンと広がります。

この本、わんどに預けておきますので、興味のある方はどうぞ。

高崎 明



NPO法人ぶかぶか

045-453-8511 横浜市中区霧が丘3-25-2-205

NPO法人ぶかぶか

検索